

沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展の賞の設置経緯について

1. 北中城村文化協会賞（2007 年度創設）

2004 年に北中城村大城区との地域貢献事業から交流が始まり、2008 年に本学が実施した「地域連携による実践的芸術教育－大学と地域の交流プログラム」やこれまでの連携事業の実績から、卒業・修了作品展の優秀制作者に賞を授与したいとの申し出を受け、賞が創設されました。

※授与開始は 2008 年度（第 20 回）

2. 北中城村長賞（2013 年度創設）

本学学生の彫刻作品の設置事業を契機に多くの村民から本学との交流拡充を望む声があり、表彰機会を設けることで本学との芸術活動を通じた交流をさらに深めたい旨の申し出を受け、賞が創設されました。

3. 沖縄美ら島財団理事長賞（2015 年度創設）

文化芸術活動の担い手である本学学生に表彰機会を設けることで本学との芸術活動を通じた交流を推進していきたい旨の申し出を受け、賞が創設されました。

4. 沖縄県立博物館・美術館長賞（2015 年度創設）

開学 30 年事業の一つとして、また学生たちの研究成果の集大成を広く発信すると同時に、発信者と受け手のより良い出会いの場を創出するため、卒業・修了作品展の会場を沖縄県立博物館・美術館に移したことを契機に、賞が創設されました。

5. デパートリウボウ賞（2019 年度創設）

文化・芸術・技術等の地域資源の継続的な発展に寄与するとともに、学業として芸術を学んだ学生が卒業後に個人で活動するきっかけとしたい旨の申し出を受け、賞が創設されました。

副賞として、デパートリウボウ内で個展などを開催する機会が与えられます。

6. 専攻賞（2024 年度創設）

美術工芸学部及び造形芸術研究科の中で特に優れた作品を制作又は論文を執筆した学生に賞を授与し、教育研究を奨励するとともに、美術工芸学部及び造形芸術研究科における人材育成に寄与することを目的とし、賞を創設しました。